

# 16. 市民がつくる祭り

名張市には、季節ごとにたくさんの人たちが集う祭りがあります。祭りの楽しさといっしょに、どのようにしてこの祭りが行われているのかを考えてみましょう。

## 1. 名張桜まつり

名張桜まつりは、名張中央公園の約350メートルのさくらなみ木の道路ぞいにさくさくらの花が満開のころにあわせて行われます。祭りの間、公園内の道路は花見客でいっぱいになるにぎわいです。特に、毎年満開の土曜日には、いろいろな店やステージイベントが開かれ、一日だけで3万人をこえる人たちがおとずれています。

この祭りをささえているのは、市内のさまざまな団体の人たちが協力してつくっている組しきです。祭りの日だけではなく、冬の間さくらの木の手入れや新しい木を植える作業も行っています。また、その季節になるとホームページでは、さくらの開花じょうほうも伝えられています。



中央公園内道路の一ばん開放



さくらなみ木を守る活動

このお祭りにたくさんの人たちが集まるのはなぜでしょうか。このお祭りをこれからも続けていくにはどうしたらいいでしょうか。

また、たくさんの人たちが集まる名張のお花見スポットをさがしてみましよう。



## 2. 名張川納涼花火大会

名張川納涼花火大会は、1931年（昭和6）年から行われている伝とうのある花火大会です。毎年7月の終わりの方の土曜日に新町地区・黒田地区の名張川のほとりを中心に、いろどりのあざやかな大小の花火が上がり、夕すずみに花をそえています。

上流の名張川ぞいに見物におとずれる人は2万人以上、遠くからながめている人を合わせると、6万人以上が見物しているともいわれています。

みなさんはこれまでに見に行ったことがありますか。



名張川納涼花火大会



愛宕の火祭りのお渡り

さて、花火大会に先立ってこの日の夕方から行われるのが、新町地区の人たちによる地元愛宕神社の祭り「愛宕の火祭り」です。みこしをかつぐ人、松明を手を持つ人たちが、勇ましいはっぴすがたで太こえんそうにのって、「お渡り」と呼ぶ行列を組み名張川をわたり切り、家族や地いきの人が病気や災害からのがれることをおいのりします。このお渡りが終わるのを合図に花火大会は始まります。

この花火大会は、市内外の会社や商店、だん体などがお金を出し合って行われています。また、有料の見物席をつくったり、市民のみなさんからの協力金をいただいたりもして成り立っています。

これらのお金は、花火を打ち上げるひ用のほかに、見物の人たちの安全を守るため会場周辺のけいびや、大会せん伝のためのポスターやチラシ作り、



会場内の音きょうせつびなどにも使われています。

また、花火大会は、ボランティアの人たちもよく日、朝のごみ拾いに加わるなど、約300人の人たちがかかわってささえられています。

花火大会を行うには、どんな仕事や作業があるのかを考えてみましょう。



### 3. 隠街道市

名張は、古くは「初瀬街道」とよばれる道が通り、「お伊勢参り」の人たちが行ききし、宿にしていたまちでした。「旧町」といわれる名張地区には、今もそのころの面かげが残っています。1975（昭和50）年ころまでは、名張市の中心市街地で多くの商店がたちならびにぎわっていたところでした。

このまちでは、毎年秋にそのころの風ぜいをみせる「隠街道市」という祭りが開かれています。「隠」は、1300年前ころに「名張」の地名を表していた漢字です。

この祭りには、50店をこえる店がならび、さまざまなイベントがまちのあちこちでくり広げられます。たくさんの人たちが「街道」に集まり、「市」というこの日だけの店には、自まんのものを持ちよれるところもあり、にぎわいの中で売り買いを楽しんでいます。

隠街道市は、「まちに多くの人がおとずれて活気を取りもどし、元気なまちにしよう。」という地いきの人たちの思いがこめられた祭りです。



れきしのあるげんざいの名張のまちを歩いてみて、どんな名前の町があるのか調べてみましょう。また、名張のまちをもっと元気にするにはどうしたらいいか、考えてみましょう。

### 隠街道市のようす



隠街道市では、街道ぞいでショーやイベントが行われる



人気の名張のゆるキャラ「ひやわん」も登場

### 市内の祭り・イベント

市内では各地で季節ごとに、さまざまな祭りが行われます。

各地のイベントに出かけてみよう。



農産物が大集合。市役所で行われる「とれたてなばり」



道路にささかざりがならぶ「七夕祭り」（上八町）



赤目四十八滝の春のおとずれを告げる「滝まいり行事」



各地いきで行われるにぎやかな夏祭り（つつじが丘地いき）



親子で楽しむことができるイベント「かがやきフェスタ」

【→P6,13,15,27,29】